

平成30年12月吉日

各 位

大学共同利用機関法人
人間文化研究機構長
平 川 南

第35回人文機構シンポジウム レクチャーコンサート

「中東と日本をつなぐ音の道（サウンドロード）—音楽から地球社会の共生を考える」（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当機構の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

人間文化研究機構（略称：人文機構）は、人間文化に関する総合的研究を発展させることを目指して平成16年4月に設立された組織であり、国立歴史民俗博物館、国文学研究資料館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所及び国立民族学博物館の6つの大学共同利用機関によって構成されています。

当機構では、6つの大学共同利用機関が一体となったメリットを生かし、各機関が連携しながら研究成果を広く一般の方にも公開するためのシンポジウム等を開催しております。

このたび、下記のとおり第35回人文機構シンポジウムを開催いたします。ポスター及びチラシを同封いたしましたので、御掲示いただき、皆様にご周知下さいますよう、御協力をお願い申し上げます。

敬具

記

第35回人文機構シンポジウム レクチャーコンサート

「中東と日本をつなぐ音の道（サウンドロード）—音楽から地球社会の共生を考える」

日 時：平成31年3月23日（土） 13:30～16:30（開場13:00）

会 場：東大寺総合文化センター金鐘ホール（奈良市水門町100番地）

【本件担当】

人間文化研究機構

センター事務室 情報発信センター係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13-2F

TEL 03-6402-9234(係) FAX 03-6402-9240

E-mail cip-office@nihu.jp（情報発信センター係）



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構



人間文化研究機構
基幹研究プロジェクト

第35回

人文機構シンポジウムレクチャーコンサート

中東と日本を

—音楽から地球社会の共生を考える

つなぐ音の道

サウンドロード

特別講演

「大仏開眼と音楽」

森本 公誠 (東大寺長老)

基調講演

「なぜベリーダンスは世界にひろがったのか？」

西尾 哲夫 (国立民族学博物館副館長)

演奏

ウード 常味 裕司
サントウール 谷 正人
尺八 カイル・カマル・ヘロウ
解説 水野 信男 (兵庫教育大学名誉教授)

申込方法

以下の web サイト内の受付フォーム、もしくは往復はがきにてお申し込みください。
<https://www.nihu.jp/ja/event/symposium/35>
定員に達した時点で締め切ります。



お問い合わせ

第 35 回人文シンポ事務局 (一般財団法人 千里文化財団 内)
TEL : 06-6877-8893
E-mail : sympo@senri-f.or.jp

主 催 : 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
特別協力 : 東大寺
後 援 : 文部科学省、東洋音楽学会、
近畿日本鉄道株式会社



参加費
無料
要事前申込

2019.3.23 土

13:30~16:30 (開場 13:00)

[会 場]

東大寺総合文化センター
金鐘ホール (奈良市水門町 100 番地)

[定 員] 300名 ※手話通訳あり



正倉院宝物にある琵琶や箏篋などの楽器は、中東がルーツであるとされています。琵琶の先祖となったアラブのウードは、ヨーロッパのリュートやギターともつながっています。音の道は地球をつなぎ、人びとは音楽によって喜びや悲しみをわかちあうのです。そのいっぽう、国歌や民族の魂の歌が境界をうみだすこともあります。特定の文化や社会に根づきながらも、人びとをつないでいく音楽の魅力に焦点をあてながら、国家や民族の境界をこえた地球社会で共に生きることにについて考えてみたいと思います。

表面：図版は、中世アラブの恋物語『バヤードとリヤードの物語』13世紀頃の写本の一場面（バチカン図書館所蔵）。写真は、尺八とウード（国立民族学博物館所蔵）

プログラム

- 13:30 ● 開会
 総合司会:相島 葉月 (国立民族学博物館准教授)
 開会挨拶:平川 南 (人間文化研究機構 機構長)
- 13:35 ● 特別講演
「大仏開眼と音楽」
 森本 公誠 (東大寺長老)
- 13:55 ● 基調講演
**「なぜベリーダンスは世界にひろがったのか？
 —音楽が創りだす地球社会の可能性」**
 西尾 哲夫 (国立民族学博物館副館長、現代中東地域研究総括代表)
- 14:20 ● レクチャーコンサート
**「地球音楽を生きる
 —中東と日本をつなぐ楽器たち」**
- | | | |
|----------|------------------------|-------------|
| 演奏1 | ウード | 常味 裕司 |
| 演奏2 | サントウール | 谷 正人 |
| 演奏3 | 尺八 | カイル・カマル・ヘロウ |
| 解説 | 水野 信男 (兵庫教育大学名誉教授) | |
| ファシリテーター | 飯野 りさ (日本学術振興会特別研究員) | |
| 総合討論 | | |
| パネリスト | 常味 裕司、谷 正人、カイル・カマル・ヘロウ | |
| ファシリテーター | 相島 葉月 | |
- 16:30 ● 閉会

ウード



常味 裕司

Yuji Tsunemi

1960年東京生まれ。明治大学卒業。スウェーデンでハムザ・エル・ディン氏、チュニジアでアリ・スリティ氏に師事。アラブ・トルコ古典音楽を中心に精力的なコンサート活動をおこなっている。洗足学園音楽大学ワールドミュージックコースのウード講師。

サントウール

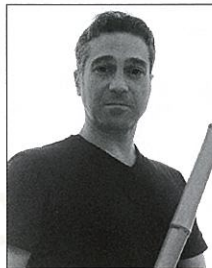


谷 正人

Masato Tani

1971年大阪生まれ。イラン国立芸術大学に留学。1998年イラン学生音楽コンクールサントウール独奏部門奨励賞受賞。大阪大学大学院で博士号取得。神戸大学大学院准教授。著書『イラン音楽一声の文化と即興』（第25回田邊尚雄賞）など。

尺八



カイル・カマル・ヘロウ

Kyle Kamal Helou

1973年ベイルート生まれ。米ヴィラノヴァ大学卒業。哲学科にて禅の哲学について学ぶ。松清館空手道と尺八の修行のため、2000年に活動拠点を東京に移す。2009年にレバノンに帰国後は、中東・地中海地域における空手道と尺八の普及に従事。

申込方法

申込フォームの場合

以下のwebサイト内の受付フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。

<https://www.nihu.jp/ja/event/symposium/35>



往復はがきの場合

往信の宛名面	返信の文面	返信の宛名面	往信の文面
〒565-8511 千里文化財団内 第35回人文シンポ事務局	吹田市千里万博公園 10番1号 国立民族学博物館3階	ご自分の住所・氏名	①郵便番号 ②住所 (返信用宛名面にも) ③年齢 (任意) ④電話番号 ⑤参加者氏名 (本人含め2名まで) ⑥第35回人文シンポ

※申込締切日 2019年3月5日(火) 消印有効

往診面に下記①から⑥と返信面に申込者の住所・氏名をご記入のうえご応募ください。

- ①郵便番号 ②住所 (返信用宛名面にも) ③年齢 (任意) ④電話番号
 ⑤参加者氏名 (本人含め2名まで) ⑥第35回人文シンポ

【宛先】〒565-8511 吹田市千里万博公園10番1号 国立民族学博物館3階

千里文化財団内 第35回人文シンポ事務局 ※参加申込された方の個人情報は本講演会のみで使用します。

アクセス



会場: 東大寺総合文化センター 金鐘ホール

〒630-8208 奈良市水門町100番地

● JR大和路線・近鉄奈良線「奈良駅」から市内循環バス「大仏殿春日大社前」下車徒歩5分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

第35回人文シンポ事務局 (一般財団法人 千里文化財団内)
 TEL: 06-6877-8893 E-mail: sympo@senri-f.or.jp